

令和5年度 第3回 学校運営協議会 議事録

校名	府立桃谷高等学校
校長名	伊藤 範子

開催日時	令和6年 1月 31日(水) 15:00 ~ 16:30
開催場所	府立桃谷高等学校 多目的教室1
出席者(委員)	梅田会長、長畑副会長、篠崎委員、筋原委員、岡崎委員、長谷委員
出席者(学校)	伊藤校長、梅田准校長、森川事務部長、百軒課長補佐、大谷主査、鍋谷主査 鈴木教頭、岡本教頭、吉田教頭(司会)
協議資料	令和5年度、令和6年度 学校経営計画及び学校評価 学校教育自己診断まとめ

議題等(次第順)
1.開会 2.校長挨拶 3.説明・協議・承認(令和5年度学校経営計画及び学校評価(案)、令和6年度学校経営計画(案)について) 4.准校長謝辞 5.閉会
協議内容・承認事項等(意見の概要)
<p>令和5年度学校経営計画及び学校評価・令和6年度学校経営計画及び学校評価の承認 (通信制の課程)</p> <p>○令和5年度学校評価について ①運営委員会の活性化 ②小さな会議の活性化 ③生徒支援の充実をめざした 学校教育自己診断において「職員会議等が有効に機能している」の数値が低下した。中学校・高校教員向け学校説明会を実施した。新校務処理システムの導入が決まった。</p> <p>○令和6年度学校経営計画について 中期的目標の令和5年度からの変更点①本校を不登校生徒の希望に ②教科会議の活性化 <協議・質問> ○卒業するのは何パーセントか。 →だいたい500人入学して300人卒業する。 ○支援が必要な生徒への支援体制は。 →支援カードを使って把握し、支援委員会を適宜開いている。 ○働き方改革について。 →ペーパーレス、定時退庁日を推進しているが、分掌のメンバーの大幅な入れ替え等で時間外勤務に影響か。 ○中学校教員向けの説明会ででた質問は。 →定通の違いと卒業生の状況の質問が多かった。 ○定通の男女比は。 →定通とも6:4で女子が多い ○不登校生徒のセンター的な役割を担うには人員の増員が必要。民間からでも知識のある人を入れるべき。</p> <p>(定時制の課程)</p> <p>○学校教育自己診断 保護者の回答が少ないので次年度はやり方を考える ○令和5年度学校評価について ①授業見学は減ったが教員間で授業等の検討を行っている。 ②進路指導についての意識が向上した ③地域連携は可能な限り行った。 ④研修成果の伝達機会の設定が課題</p> <p>○令和6年度学校経営計画について 基本的に変えていない。(6年度は)今年以上に教員の異動が多く、新しいことを行うのが困難なため。 ①授業力の向上 ②規律指導 ③日本語指導の対応 ④広報の充実(経営計画には載せていない) <協議・質問> ○日本語指導の取り組みはどうなっているのか。 →日本語指導という授業を1年生で開設(単位修得有) ○外国籍の生徒と日本国籍の生徒のトラブルは。 →1年で3回の多文化交流を行っている。日本語指導を受けている生徒は他の生徒と時間割が違うため関わる機会が少ない。トラブルはない。 ○日本語指導を1年で沢山行っているのは桃谷定時制の強み。苦労していることは。 →教育サポーター(通役)の方と担任と保護者のスケジュール管理、生徒の健康保険や定期購入などの相談があり大変だった。 ○卒業後の進路が決まっていない生徒が多いので、より具体的に進路指導を行っていく必要がある。</p>